

令和6年7月8日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

園児が挑戦する SDGs なキノコ栽培について

本学教育学部附属幼稚園では、令和6年7月より、食品残渣を活用して機能性キノコ栽培の研究を行う山梨大学大学院総合研究部の片岡良太准教授の指導のもと、年長児が家庭から出る食べ残しなどの食品残渣を活用したキノコ栽培に挑戦をします。

取り組みに先立ち、7月5日、園児たちは片岡准教授から食品残渣が資源として有効活用できることについてお話を伺いました。今後、園児たちが各家庭から持ち寄った食品残渣を使って、親子でキノコの菌床作りを行い、夏休み明けに大学の研究室でキノコ収穫を行う予定です。

この取り組みは、現在教育界でも注目されている SDGs につながるものであり、園児にとっては、「食品ロス」解消に向けた「リサイクル」を実際に体験しながら学べる貴重な機会であると捉えております。

つきましては、この取り組みの中の菌床づくりについて、下記の日時で公開しますので、当日の取材および、貴報道枠でのご紹介をよろしくお願いいたします。

記

日 時：令和6年7月18日（木） 11時～12時
場 所：山梨大学教育学部附属幼稚園（甲府市北新1-2-1）
内 容：園児と保護者によるキノコ栽培の菌床作り

<取材について>

- ・取材を希望される報道機関の方は、7月17日（水）17：00までに附属幼稚園へ事前にご連絡願います。
- ・質問等については、当日、附属幼稚園長が対応します。

<問い合わせ先>

山梨大学教育学部附属幼稚園
TEL：055-220-8320 FAX：055-220-8783
E-mail：kirinome@yamanashi.ac.jp

<広報についての問い合わせ先>

山梨大学総務企画部総務課広報・渉外室
TEL：055-220-8005, 8006 FAX：055-220-8799
E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

【片岡准教授より食品残渣の有効活用についてお話を伺う園児の様子（令和6年7月5日）】



【食品残渣を活用した機能性キノコ栽培の仕組み】



イラスト：ぐらいいん屋・コンセプト：株式会社 SD Global AgroTec Japan